



# 四季彩々

NO.26 2009年 5月号 隔月発行  
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部  
岐阜市美江寺町2-1教育会館内 TEL 058-266-0184  
編集責任者 上 宗治  
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

## 多治見支部 街頭署名活動

4月11日(土)あわたたしいなか市内のスーパー(パロー)にて街頭署名に取り組みました。参加者17名はハッピー姿で8本ののり、横断幕、そしてマイクにて呼びかけ、1時間1008筆の署名を集めることができました。

### 物価に見合う年金引き上げ 最低保障年金制度の実現を求める

多治見支部 西尾澄子



多治見支部のみなさんハッピー姿で多治見パローで署名活動



夕食と交流宴会の舞台上で宇津時雄さん熱演

### 「安木節」に魅せられて

西濃支部 宇津時雄

何かに挑戦を 楽しく活動する中で2年経て何かに挑戦を思いかられる。

福祉関係のボランティアからヘルパー2級やNPO福祉輸送(運転)資格取得し、活動する。しばらくして新聞上での安木節(どじょうすくい踊り)の記事を見つけた。かねてから関心を持っていて踊ってみたいとの願望があった中、大垣で講座が開かれるので早速申し込み、習う事となる。

なかなか難しい いざ始めてみてビックリ。 中腰の姿勢での苦しく、重労働である。あの独特の歩くときの腰ふり、何回やってもできず悪戦苦闘。一年近くかけて、ようやくサマになるという次第です。

身体の動きと仕事。ほおかむりと鼻にかけた硬貨の顔。何とも云えない嬉しそうな笑顔と表情は踊りの命。短い踊りの中で、ずっと笑いが取れる安木節。二年かけて人前で踊れるようになる。

気づけば、入講した仲間8人で最後まで残ったのは私一人でした。衣装代にワン万円。無駄にならない様プレッシャーをかけて、絶対にみんなの前で踊れるまでとは、執念をもちやしやるとげる。

全国に根強い人気の「安木節」衣装とか恰好だけで笑いをとる、どじょうすくい踊り。今見ることのないドジョウやヒル思い出して、笑顔で踊りを見せる。

私の密やかな踊り 「安木節」。 認知症講座で「ゲーム」。 老人会などの行事で笑顔をゲットする活動しています。

安木節はお座敷での宴会の席が一番です。ほろ酔い気分で少々おどけて踊り、見てもらうほうが最高。

お誘いがあれば出かけます。お座敷の宴席、盛り上がりですよ!

## 世直し どじょうすくい

3月24日・25日 開催されました  
東海ブロック支部交流集会

## 本の紹介

悪いのだと悩む患者です。 しかし、一人ひとりが違ってたトラウマ(精神的外傷)を持っています。悩みぬいてきた「人間の弱さ」という美しさがある。

変でいいはずはない。しかし、自分も含めて変な人、変な部分を持った人はゴロゴロいる。「へんてい」この題名にひかれて買ってしまいました

### 「へんてい」

齋藤学×栗原誠子著 大月書店

人間が求めてきたのは人からの受容他人から「そのまんまの形」で受け入れられること、「悩みは宝」とも云う。おでんはじっくり煮られているうちに、それなりの味がしみてくる。そのままでいい、症状を抱えたままでもいいと云い。この病院では、医師看護士、患者の垣根がなく、話を聞くことが聞かまいが自由、みんなで発言するミーティングを大事にして患者の持っている力で回復する。「齋藤先生にまるで治してもらえませんでした。自分で立ち上がるようになっていきました」と患者は堂々と発言する。

この本を読んで、心を単純化してくれた。自分や他人の変なところは、おでんと思えるようになった。

上 宗治

## 新しい仲間の紹介

3月と4月は組合員の46人の加入者です。バンサイです!

支部名	岐阜	西濃	関	加茂	可児	多治見	土岐	恵那
各務原	聖田静子 渡辺 優 福田哲郎 渡辺秀子 山内燈子	宮本文二 小島君子 岡崎和子 浅野和子	河田知雄	清水美代子 生駒百合子 三品勇子	榑崎亨一 松本興司 萩谷雅文 寺澤武子 平岡正子	木下祥次 酒井哲男 山内長子	松本喬夫 宮川専吉 杉山トモ子 志津愛子	鈴木初男 藤井鉦弘 熊崎やへ 加地巳貴香 西尾すみゑ
	篠原 基 岩井 稔 篠原和江 児宮山トミ 戸谷加代子	荒川康子		上坂とめ子 久世しげ子 草本勝世 鍵谷美智子 清水敏子				加藤 康 黒柳しの 小林あき代 鶴飼準子 島袋八重子

## 2000人組合員にあと92人

岐阜県年金者の元気になる目標

### だみ

テレビで「農地転用」が増えているとの報道を聴いていて思い出したことがある。▼もう古い話になるが、マスコミが先頭に立って「農家は供出米でふるっけをし、その上税金で特別優遇されている」と農家叩きが展開された。そして政府は農業への補助をどんどん減らし、農家は生計が成り立たなくなってしまう▼農業をやっていけなくなった人達は、労働力となって産業界に供給され高度成長を支えた。農地は宅地に転換されて、工場や住宅の開発が進んだ。農業は廃れ企業は繁栄した▼マスコミの利用では、似たようなことが消費税導入の時に起こった。「事業者は家事費も遊覧費も経費で落として税金をまかす放題」との記事が紙面を賑わした。政府大蔵省は人々の嫉妬と怒りを巧みに利用して消費税導入を見事成功させた。一方、事業者は農家と同じ道を進んでいる▼実は消費税という税金は、企業は一銭も負担しなくてよい税金なのだ。その事業者を叩いて消費税を通してしまったのだから不思議ではある▼消費税で国の税収が増えたが、それとは同じ金額の法人税が減税された。最後に笑う者はやはり同じであった。前田

# 老木のひとり琴 ⑥

かなり前のこと、ある新聞のコラムに、「肅々」と題して、「国交省―道を造る。法務省―(死刑を)執行する。財務省―居酒屋タクシーを使う」というのがあった。

政治家や官僚は、この「肅々」と言う言葉がどうも好きらしいが、下々にはとんとなじまない。「肅々」とへそくりをたくめる。「禁酒の張り紙のもとにひとり肅々と酒を飲む―いざしれにしても、しつくりこない。

## 反肅々

「肅」という字からは、なぜかよくないイメージを連想する。「綱紀肅正」とか「静肅に」というと、乱れた状態・やかましい状態を力で抑えつけようとすることを想像する。さらに「肅清」というと、ヒトラーやスターリンの「血の肅清」を思い出す。そんな「肅」を二重に使った「肅々」を、なぜか政治家や官僚は好んで使う。それには二つの意味がある。

永田町や霧ヶ関には、「消費税増税」や「憲法改悪」を肅々とやりたい面々が、その機をうかがっている。これに対して、鳴り物入りで反撃しなければ老いの身体に鞭を当てる。

「鞭当てたところで、一年間、「老木のひとり琴」に付き合っていたいただいたことに感謝して終わります。 福井 信郎

## 年金者組合 愛知県岡崎支部・文化めぐりの会 瑞浪・中山道大湫宿へ来訪



瑞浪市武並にある天然記念物ナンジャモンジャ

5月12日文化めぐりの会の人たちが29名が瑞浪に来訪。瑞浪市の武並にある「ナンジャモンジャ(ひとつばた)」・「中山道大湫宿」・「日中不戦の誓いの碑」の文化めぐりに来られました。

資料など準備し、地元の山口さんなど関係者と一緒になって詳しく案内をされました。岡崎支部の人は、山の斜面に雪に覆われたようなナンジャモンジャの木の花を見て驚きのため息を出されていました。皆さん楽しんで帰られました。

されてとてもきれいでした。楽しい一日でした。

二日目は全体会議です。前日の各分科会で成果を上げていく支部報告でした。

愛知の稲沢の方は「餃子を作り、誕生日の方に花を贈る」など楽しんでいますが、他の方は「山登り」をしたとか、いろいろ工夫をして会員を増やす努力をしていると語って見えました。

私の発言は「付知の一八会は、ちょっと違うところがあります。国民年金の方が80%であり、老人の2割弱の組織率であることです。ニュースは自筆で読みやすく皆さんで作成しています。

誕生日会(総会)は2カ月に一度支部毎に当番制で約60人が集まります。できるだけ安く、楽しく、

ジャガイモ 四月になると野菜づくりが始まる。最初に植え付けられるのはジャガイモである。最近はいろいろな種類があるが、男爵とメークインを四月三日に植え付けました。

マニユアルによると一週間前には苗床を作っておくとよいとあり、四月末には作った。以前勤めていた恵那農業高校園芸科の先生に電話すると「早く買いたて来ない」と言われ、二八日に八種類の苗を買ってきた。 夏野菜

## 試行錯誤の野菜づくり ⑤

屋間は外に夜は車の中に入れて保管して、五月九日から暑くなるとの予報に従って、風が吹かない朝に植え付ける予定である。 恵那 加藤昌宏

### 川柳



関支部 坂井八郎

土産解き旅の匂いを分けてやる 肩書きを忘れた頃に丸くなり 散発で軽口たたく禿げ頭

誘い水二つ返事で飛んで行く 変化球年相応にうまくなり パズル解き錆びた頭を光らせる

崖つ淵でうちらの粘りがまだあった 笑い皺増えて存在光りだす 酔う程に手が泳ぎだす釣り自慢

露天風呂掬った紅葉に月割れる どこからも保険差し引く福祉国 一度だけ有り難がらせて掠めとる 一人居の生きざま詰めるゴミ袋

## 東海ペンクラブ 文部交流集会に参加して

恵那支部・一八会 見尾さとみ

桜の花がちらほら咲き始めかけた3月24日から25日2日間、四谷公園近くのホテルパークで1000名の仲間が集まりました。

第一日目、講演、友寄英隆氏の「新自由主義の破たん」と世界の流れ」についてです。

日本全体、東海地方でも大変な事態になっている。派遣、期間工などの非正規の解雇という状況が深刻に表れています。

でなければと、どこかの会でもいろいろなサークルを作り楽しんで活動をして見える報告がされました。付知の一八会のことを皆さんよく知っていて見えて、私が話す前に一八会の素晴らしいことを発言されて面喰ってしまいました。

やっと講演と分科会が終わわり、食事と宴会になりました。受けたのは、替え歌「麻生首相の冬景色の歌」や「にわか歌舞伎」「安木節」の踊りでした。最後にお風呂に入って、夜景をながめる岐阜城がライトアップ

## 文藝・浮世うた

関支部の坂井八郎さんから自主出版の川柳句集「くさめ」を、年金者県本部に贈呈して頂きました。遊び心で言葉鋭く深められた作品ばかりです。勝手に選ばせて頂き紹介します。

関支部 坂井八郎